

第3次稲敷市総合計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

1. 実施期間

令和6年1月18日（木）から1月31日（水）まで（14日間）

2. 提出者数及び意見件数

3名から4件（電子メール1名、持参2名）

3. 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>■空き家対策について</p> <p>空き家以外にも「空き店舗バンク」の取組があれば店舗型事業を行いたい市民や移住者に対して直接的なアプローチが可能になると思われる。</p> <p>また、廃墟等の一般流通が難しい物件など、状態を問わずに物件を探している方と手放したい方との直接的なマッチングが可能なシステムがあればいいと思う。</p>	<p>本計画では、起業・創業支援の強化に取り組むこととしており、市民が起業・創業するにあたり、空き店舗を活用した場合には支援金を加算する制度を設けております。また、空き店舗になる可能性がある店舗や事業者と起業・継業を希望する人材のマッチングにも取り組むこととしております。</p> <p>廃墟等の物件のマッチング制度については、調査研究を進めて参りたいと考えております。</p> <p>○関連内容の主な掲載場所 第1章 協働の力で暮らしと産業を元気にするまちづくり 施策5 まちづくりと連携した商業・工業の振興 取組2 起業・創業・継業の支援</p>
2	<p>■古渡水の里公園の活用について</p> <p>古渡水の里公園は旧古渡小学校に隣接しており、観光施設化を推進するには適した場所だと思う。近くには運動公園もあるので、例えば「自然との触れ合いと健康」などをテーマにした総合的な開発が可能な素地もあるかと思う。</p> <p>古渡水の里公園を「湖畔の自然公園」などのようなテーマで現代的な営利事業型の総合公園として再生することができれば、観光コンテンツ及び観光拠点の一つとして活用できるのではないかと。</p>	<p>本計画では、人口減少が進展する中で、地域活力を維持・向上させるため、観光まちづくりの推進と充実を位置付けており、霞ヶ浦などの豊かな自然環境を活かした取り組みを図ることとしております。</p> <p>また、小学校の統廃合が進み、学校跡地の有効な利活用が課題の一つとなっていることから、これらの有効活用や開発事業においては、民間活用等の多様な手法を積極的に導入し、最適な活用を進めることとしております。</p> <p>いただきましたご意見については、これらの取組の中で協議していくこととなります。</p> <p>○関連内容の主な掲載場所 第1章 協働の力で暮らしと産業を元気にするまちづくり 施策2 地域資源を活かした魅力ある地域づくりの推進 取組2 観光まちづくりの推進と充実 第2章 自然と都市とが共存する住み続けられるまちづくり 施策4 持続可能な行政運営 取組2 公共施設の適正配置と不用財産の有効活用</p>

No.	意見の概要	市の考え方
3	<p>■子育て支援センターについて</p> <p>年々、子育て支援センターの利用者数が減少しているが、令和8年度から始まる誰でも通園制度で増々減少してしまう可能性もあるので、現在の対象年齢の幅を広げてはいかかか。</p> <p>例えば、現在の子育て支援センター・ファミリーサポート事業の他に、発達に不安のある子に対する療育や、放課後児童クラブに入所していない子の居場所（児童館のようなもの）などを加えることはできないか。</p> <p>場所の確保など問題はあと思うが、子育てをもう少し長期的（0歳～2歳ではなく）にサポートできればと思う。子どもたちが楽しく安全に過ごせる場所があればいいと思う。</p>	<p>本計画では、子育て世帯が抱える多種多様な悩みや課題をサポートするしくみづくりを通して、家庭を見守り支えていくことを取組方針としております。</p> <p>いただいたご意見についてですが、子育て支援センター事業は充実を図ることとしていることから、事業内容や利用対象者を拡充することについても検討してまいります。また、放課後児童クラブに入所していないこどもの居場所については、放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブと放課後こども教室の一体的な実施について、関係機関（学校等）と連携し、放課後こども教室の拡充により、子どもたちが楽しく安全に過ごせる場所の検討をしてまいります。</p> <p>○関連内容の主な掲載場所 第3章 子どもたちを育み楽しく学び続けるまちづくり 施策1 地域と連携した教育・保育と教育環境の充実 取組1 総合的な子育て支援の充実 取組2 地域における子育て支援の充実</p>
4	<p>■プロ野球球団の誘致について</p> <p>千葉ロッテマリーンズのファーム施設移転検討の報道があったが、稲敷市には圏央道が通っており、ICも2か所あるため、千葉市との移動距離・移動時間が茨城県南部の中で1番短いという利点があり、土地も確保できると思う。今後の稲敷市の課題克服の1つの大きな材料として、地域活性化、経済発展、魅力アップの一環として誘致活動をしてはいかかか。</p> <p>花火大会や祇園祭などは数日間しか多くの来訪者が来ないが、ファーム施設が移転されれば年間を通して人の流れが増え、経済発展・雇用拡大・交通網の発達・税収増大など様々な効果が生み出される。</p> <p>自治体の負担などもあるが、移転の見返りとしてそれ以上に戻ってくるので、行動を起こしてほしい。</p>	<p>本計画では、本格的な協働のまちづくりに取り組むことを掲げており、行政と市民だけでなく、民間企業や大学などと連携し、活気ある地域づくりを目指すこととしております。</p> <p>企業等の誘致については、本市に活力と潤いをもたらす取組として、首都圏の近郊に位置する地理的条件と圏央道のポテンシャルを活かした誘致活動を積極的に推進し、産業拠点の形成や、市内の雇用機会の創出を図ることとしております。</p> <p>いただいたご意見については、これらをはじめとする複合的な取組として、協議・判断をしていくこととなります。</p> <p>○関連内容の主な掲載場所 第1章 協働の力で暮らしと産業を元気にするまちづくり 施策1 みんなで取り組む地域づくり・社会づくり 取組1 情報の共有と参画の推進</p> <p>第1章 協働の力で暮らしと産業を元気にするまちづくり 施策5 まちづくりと連動した商業・工業の振興 取組1 企業誘致の推進</p>